

SEAラウンドトーク

アーティストは今、ソーシャリー・エンゲイジド・アートをいかに捉えているのか？
一線で活躍するアーティストによるトーク&ディスカッション・シリーズ

Vol.9

ワークショップ「差別団体のデモに抗議してみる」

ゲスト | 竹川宣彰

2018年5月25日[金] 18:30-20:30

「差別団体のデモに抗議してみる」というワークショップ型アートを仮定してみるとそこにはどのような問題が立ち上がるのでしょうか？第一の問題は「社会問題への興味」と「社会問題に介入するアートへの興味」との間には根本的な隔たりがあるということ。第二の問題はネット空間における表現の「実験」の激化の果てに現実空間に産み落とされてしまった差別デモをアートの手で再び「実験」に引き渡してしまうと

いうこと。この仮定と問題提起は、社会がアート化しアートが社会化して交わり表現の自由と自由な表現が交換されてしまう危険な一線を提示するものです。その一線を認識することはソーシャリー・エンゲイジド・アートの前提条件を確認することでもある筈です。作品の紹介を通してわかりやすく考えを共有したいと思います。



プロフィール

竹川宣彰 Nobuaki Takekawa

平面、立体、インスタレーションなど多岐に渡る表現方法で、独自のセンスとユーモアに富んだ作品を制作。国内外で数多くの展覧会に参加しながら、デモなどの路上の活動にも加わり、社会・歴史と個人の関係を常に問い直している。近年参加した展覧会は「理由なき反抗」ワタリウム美術館(2018)、ウラジオストクピエンナーレ(2017)、シンガポールピエンナーレ(2016)、あいちトリエンナーレ(2016)など。

<http://takekawanobuaki.com>

お申込み&お問合せ

www.art-society.com

ウェブサイト上に公開する申込フォームよりお申し込みください。

定員 | 20名(先着順)

料金 | 800円(コーヒー/資料代込)

※いただいた個人情報は、適切に責任を持って管理いたします。

主催 | ART & SOCIETY RESEARCH CENTER

NPO法人アート&ソサイエティ研究センター
110-0005 東京都台東区上野3-13-9 原田ビル201

会場

アーツ千代田 3331
地下1階 マルチスペース(B105)
東京都千代田区外神田6丁目11-14

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
JR御徒町駅南口より徒歩7分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分
JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

